



市議会だより

発行

各務原市議会

 岐阜県各務原市那加桜町1-69
 電話058-383-2001

編集

市議会だより編集委員会

かかみがはら



29万3千羽の願い 小学生代表17人が、7月26日に広島の平和記念公園へ届けました。

6月定例会

もくじ

定例会・臨時会の主な議案説明 2

審議結果 4

市政を問う 一般質問

鵜沼駅周辺整備事業 5

各務野立志塾 6

各務原キムチ 7

後期高齢者医療制度 8

子育て応援プラン 9

市民の声、議会素描 10

新鵜沼駅自由通路新設工事

9億2、196万円で名鉄へ工事委託

平成19年第3回各務原市議会定例会（6月定例会）を6月11日から6月27日の17日間の会期で開催しました。

今期定例会に市長から提出された議案は、平成19年度一般会計補正予算をはじめとする19案件でいずれも原案のとおり可決・同意しました。

なお、本会議最終日に日豪EPA/FTA交渉に対する意見書ほか1件を議員提案し、いずれも原案のとおり可決しました。

主な議案内容は、次のとおりです。

- 第3回定例会に市長から提出された議案は、
- 予算の補正 2件
 - 人事の案件 2件
 - 条例の改正 8件
 - 土地開発公社定款の変更 1件
 - 工事委託協定の締結 1件
 - 財産の取得 2件
 - 市道路線の認定・廃止 3件
- の合計19案件です。
- 主な議案内容は、次のとおりです。

19年度一般会計 補正予算

障害者自立支援法の改正により自立支援医療給付事業費を増額するのをはじめ、踏切拡幅事業のJR東海への委託金額の確定など、当面の行政需要に対応するため、歳入歳出予算の補正を行うものです。

○歳入の主なもの
・国庫支出金

572万4千円
県支出金
844万8千円
繰越金
3、296万円
○歳入の主なもの
・市道那538号線第2農大踏切（市民公園北）拡幅事業費
2、650万円
・障害者自立支援事業費
1、569万4千円
・特別支援教育指導推進費
210万円
などを計上した結果、一

般会計の予算規模は、4、713万2千円を追加し、補正後の予算総額は395億5、713万2千円となります。

繰越明許費については、JR東海へ委託して実施する市道那538号線第2農大踏切拡幅事業の19年度内の完成が見込めないことから、翌年度に繰越して実施しようとするものです。

教育長を再任

教育委員会委員（教育長）高根靖臣氏の任期が7月12日に満了するため再び同氏を任命しようとするものです。

市民農園設置条例の 一部改正

鵜沼南町1丁目地内に鵜沼南町市民農園を新設しようとするものです。

財産の取得

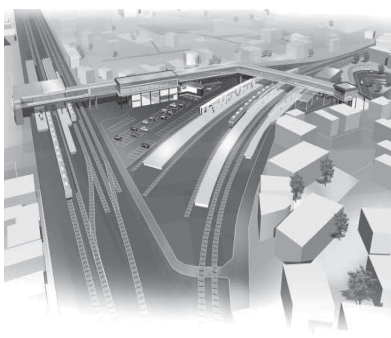
○高規格救急自動車、救急自動車各1台を指名競争入札により、岐阜トヨタ自動車(株)那加店から

4、284万円で取得するものです。

○各務おがせ町6丁目地内で改築中の学校給食センターの厨房設備機器を随意契約により、岐阜アイホー調理機(株)から3億5、175万円で取得するものです。

工事委託協定の締結

新鵜沼駅自由通路新設工事の工事委託協定を9億2、196万円で名古屋鉄道(株)と締結しようとするものです。



新鵜沼駅自由通路完成予想図

議員派遣の件

市議会だよりの編集に関する調査のため、山口県周南市、防府市へ8月29日から30日の2日間、

市議会だより編集委員の派遣を決定するものです。

5月臨時会

第2回臨時会を、5月14日に開催しました。主な議案は、次のとおりです。

教育委員の任命

教育委員会委員伊藤徳一郎氏の任期が5月15日に満了するため、その後任に岩田重信氏（大野町）を任命しようとするものです。

農業委員の推薦

任期満了に伴い、議会で推薦する農業委員に次の方々を推薦しました。

浅野善行氏（那加長塚町）、岩田英稔氏（川島河田町）、長縄和郎氏（各務東町）、伊藤博氏（蘇原熊田町）

選挙管理委員並びに

同補充員の選挙

任期満了に伴い、次の

方々を選挙しました。

選挙管理委員

山田初代氏（那加前洞新町）、丹羽龍夫氏（上中屋町）、足立陽三氏（各務おがせ町）、五十嵐理恵氏（蘇原六軒町）

同補充員

前田勝則氏（那加西市場町）、川瀬兼彦氏（川島河田町）、若田壽美代氏（鵜沼三ツ池町）、浅野記子氏（蘇原熊田町）

7月臨時会

第4回臨時会を7月18日に開催しました。

主な議案は、次のとおりです。

和解及び損害賠償の

額を定めること

18年8月6日、川島スポーツ公園プールで発生した死亡事故について、被害者相続人に対して、各務原市、各務原市施設振興公社及びケイ・エッチ・エス㈱の3者で連帯して賠償するものです。

日豪EPA／FTA交渉に対する意見書

本年から開始するとされている日豪EPA（経済連携協定）／FTA（自由貿易協定）交渉において、豪州政府は農産物も含む関税撤廃を強く主張すると見られている。豪州政府の要求どおり、農産物の輸入関税が全面的に撤廃されるようなことになれば、政府の試算では、牛肉、乳製品、小麦、砂糖の主要4分野で約8,000億円もの打撃を受けるとされ、このほか関連産業や地域経済への影響を含めると2兆円～3兆円規模となるとも言われている。

また、食料自給率は30%台に低下するなど、日本の農業と食料事情は壊滅的な打撃を受けることになるほか、農林業の多面的機能が失われ、農山村社会の崩壊、国土の荒廃及び環境の悪化を招くことになる。

さらに、昨年、干ばつによって大減産となったように豪州の農業生産条件は極めて不安定であり、安易に依存することは世界的な食料不足・危機が懸念されている中で、日本の食料安全保障を危うくする結果を招きかねない。

よって、国におかれては、下記事項を実施されるよう強く要望する。

記

1 日豪EPA／FTA交渉に当たっては、米、牛肉、乳製品、小麦、砂糖などの農林水産物の重要品目を除外するとともに、万一、これが受け入れられない場合は交渉を中断すること。

2 農産物貿易交渉は、農業、農村の多面的機能の発揮と国内自給による食料安全確保を基本とし、各国の多様な農業が共存できる貿易ルールを確立すること。

以上 地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年6月27日

岐阜県各務原市議会

内閣総理大臣、農林水産大臣、外務大臣 様

審 議 結 果

(6月定例会)

- 19年度一般会計補正予算(第1号)……………原案可決・全会一致
- 19年度老人保健特別会計補正予算(第1号)……………原案可決・全会一致
- 教育委員会委員の任命(高根靖臣氏)……………原案同意・全会一致
- 人権擁護委員候補者の推薦(浅野妙子氏)……………原案同意・全会一致
- 行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例……………原案可決・全会一致
- 市税条例の一部を改正する条例……………原案可決・全会一致
- 市民農園設置条例の一部を改正する条例……………原案可決・賛成多数
- 公民館条例の一部を改正する条例……………原案可決・全会一致
- 屋外広告物条例の一部を改正する条例……………原案可決・賛成多数
- 都市景観条例の一部を改正する条例……………原案可決・賛成多数
- 特別工業地区建築条例の一部を改正する条例……………原案可決・全会一致
- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例……………原案可決・全会一致
- 土地開発公社定款の変更……………原案可決・全会一致
- 工事委託協定の締結(新鵜沼駅自由通路新設工事)……………原案同意・全会一致
- 財産の取得(高規格救急自動車・救急自動車)……………原案可決・全会一致
- 財産の取得(学校給食センター厨房設備機器)……………原案可決・賛成多数
- 市道路線の認定(市道鵜 1305 号線)……………原案可決・全会一致
- 市道路線の認定(市道稲 927 号線ほか4路線)……………原案可決・全会一致
- 市道路線の廃止(市道鵜 18 号線)……………原案可決・全会一致
- 小学校卒業まで医療費の無料化を求める請願……………不採択・賛成少数
- 日豪EPA/FTA交渉に対する意見書……………原案可決・全会一致
- 議員派遣の件(市議会だより編集に関する調査)……………原案可決・全会一致

(5月臨時会)

- 専決処分の承認(18年度一般会計補正予算(第6号))……………原案可決・全会一致
- 専決処分の承認(市税条例の一部を改正する条例)……………原案可決・賛成多数
- 教育委員会委員の任命(岩田重信氏)……………原案同意・全会一致
- 土地の無償貸付の変更(中部学院大学用地貸付)……………原案可決・賛成多数
- 農業委員会委員の推薦
- 選挙管理委員会委員並びに同補充員の選挙

(7月臨時会)

- 19年度一般会計補正予算(第2号)……………原案可決・全会一致
- 和解及び損害賠償の額を定めること……………原案可決・全会一致

市政を問う 一般質問

6月21日、22日の2日間、市政に対する一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)
横山隆一郎、尾関光政、三和由紀、吉岡健、太田松次、波多野こ
うめ、梅田利昭、横山富士雄、高島貴美子、三丸文也、永治明子
議員の質問および市長以下関係部長の答弁は次のとおりです。

鵜沼駅周辺整備事業

橋上駅・自由通路・駅前広場

21年3月完成へ

▼問 JR鵜沼駅の橋上駅、自由通路、名鉄新鵜沼駅前広場の進行状況は。

▼答 JR東海と昨年9月に工事委託協定を締結し、JR鵜沼駅の橋上駅の整備を進めている。今期定例会に、自由通



橋上駅となるJR鵜沼駅完成予想図

路建設に対する名鉄との工事委託協定の締結の議案を上程しているが、8月ごろから着手し、21年3月末の完成に向け、工事を進めていく。

また、新鵜沼駅前広場は、土地所有者などの理解をいただきながら用地買収を進めており、今年度で用地取得と詳細設計を完了させ、JR鵜沼駅の橋上駅、自由通路、新鵜沼駅前広場が同時に完成するよう業務を進めている。

▼問 那加中学校南のJR前野踏切の拡幅と歩道設置は。

▼答 地元代表者・学校関係者から要望書が市と

JR側に出された。

市も「緊急対策踏切に関する5力年整備計画」に挙げているが、拡幅には、多くの条件整備が必要なので、実施に向けて検討し、鉄道関係者と協議していく。

公園・道路の植栽

▼問 公園、道路などの植栽は、二酸化炭素削減に大切だが、市民から苦情もある。植栽の必要性を周知すべきではないか。

▼答 緑豊かで潤いのあるまちなみとするため、水と緑の回廊計画に基づき、植栽を積極的に行っている。

街路樹は、地域環境や防災、景観形成上重要な役割を果たすもので、現地の実情を考慮しながらできる限り植栽をしていきたいと考えており、市民皆さんに理解していただくよう努力している。

▼問 公園や道路などで、植栽により危険なところがあるのでは。

▼答 公園内の植栽は、来園者の視野を妨げないよう配慮するとともに、公共施設緑化マニュアルに基づき、歩行者、運転者の支障にならないよう管理を行っている。

歩道の整備

▼問 上戸町清水橋から東進する坂道に歩道を設置できないか。

▼答 26年完成を目指して、整備を進めている(仮称)那加小網線との交差点で、大規模な改良

市PR壁画

が必要であり、道路線形の変更などを検討しており、これにあわせて、早期に整備できるよう検討している。

▼問 西の玄関口となっている東海北陸道の高架下と、北の玄関口となっている東山ニュータウン東の壁画の塗り替えが必要ではないか。

▼答 経年劣化が進んでいるので、現在検討中である。



東海北陸道高架下の壁画

各務野立志塾

前期は3年生、後期は2年生で

▼問 各務野立志塾の評価は。

▼答 歴史的に見て、7つの海を支配していた大英帝国の首都ロンドンの識字率が20%程度であったにもかかわらず、約3万の寺子屋と約280の藩校で人間としての基礎基本、徳育と「読み・書き・そろばん、志」が教えられていたおかげで、江戸時代の識字率は約50%にも達しており、近代工業国家へ脱皮する礎となった。

このような事実から、本市の教育の合言葉は、「人づくり（心豊かでたくましい子）」である。各務野立志塾でリーダーとしてあるべき姿を学んだ彼らは、学校に戻り、生徒会活動や学習などに非常に高い志をもって取り組み、その姿に多くの生徒たちが心を動かし、学校に活気が生まれたと

いう話があるなど、大きな成果に驚いている。

塾生の中から21世紀の各務原市や日本を動かすリーダーが輩出するものと確信している。



各務野立志塾

▼問 今年度の立志塾の内容と講師陣は。

▼答 一人一人に力をつけるためには最大40名が限度と考えており、今年度からより多くの生徒が参加できるよう、白川村にあるトヨタ白川郷自然学校で2回開催する。

前期は3年生を、後期は2年生を対象として研

修を考えている。

講師は市長、星野商工会議所会頭、松田岐阜市立女子短大市長の産学官のトップリーダー3名が務める。

スクールガードリーダー

▼問 スクールガードリーダーの業務内容は。

▼答 具体的な業務内容は、不審者対応に関する指導・助言、関係機関や教職員の連携の取り方、防犯笛やベルの鳴らし方などの指導を行う。

さらに、見まもり隊への交通安全指導・助言のほか、中学校での不審者対策避難訓練などの指導・助言の計画もある。

国の事業として今年度のみ実施するもので、通学路見まもり隊の活動などが充実していることから、来年度以降実施する予定はない。

▼問 日常生活の中で突発する健康危機に即座に判断し、とるべき行動をまとめたプログラムを学習させるBLS教育の現況は。

▼答 中学2年に応急手当の意義と手順として、人工呼吸や心臓マッサージの学習を行っている。今年から全中学校にAEDが設置されるので、より実践的な学習を進められるよう指導していきたい。

▼問 教育サポーター制度を導入する考えは。

▼答 調査研究として、9月から市内5校の小学校で理科支援員配置事業を始め、その成果を見たい。

学校の耐震化

▼問 学校施設の耐震化率が、全国平均の耐震化率58・6%を下まわって

いるが、耐震改修の推進はどうなっているのか。

▼答 3年にわたり応急的な措置として実施した緊急補強実施分を含めると63・9%になる。

緊急補強は、耐震診断結果により、耐震壁などを補強するもので、文部科学省の基準数値に示されないため、公表された耐震化率に合っていない。

なお、災害時の避難所となる体育館の耐震化を優先的に実施してきたので、体育館の耐震化率は、76%となっており、校舎の耐震化も年次計画に基づき国の補助事業で鋭意推進したい。



学校耐震補強（川島中）



B1グランプリ (富士宮市)

各務原キムチ B1グランプリ出場

▼問 各務原キムチが、富士宮市で開催されたB級グルメの全国チャンピオンを決める第2回B1グランプリに挑戦したがその効果は。

▽答 6月2日・3日の2日間で、準備したキムチ鍋約2,600杯を完売し、キムチ約500個、ポテトチップ360個も売り切れるなどたいへん好評を得た。

会場には、2日間で25

学校給食センター 厨房設備機器

万人の来場者があり、テレビ・新聞・雑誌などあらゆるメディアが取材合戦を繰り広げたことから、大いにPRできたと思っている。

▼問 建設中の学校給食センターの厨房設備機器選定にプロポーザル方式を採用した理由は。

▽答 厨房設備業者の専門的な技術提案により、レイアウト、最良のシステム、機器の性能などの基本的な方向性を決め、配置計画を固めてから、建築設計にかかるのが合理的であるとの理由からである。

▼問 厨房設備機器の購入先に岐阜アイホー調理機(株)が選定されたが、過去3年間の納入実績がトップの評価になっているのは、メーカーである(株)

アイホーの実績ではないのか。

▽答 評価項目29項目について、客観的かつ公平な審査が行われた。

機器の納入実績は、給食現場でどれくらい使われ、信頼性を得ているかを評価するもので、各社の機器製作部門、販売部門の過去3年間の納入実績を評価したものである。

人づくり講師

▼問 本市が先進的に取り組んできた旧介護員制度は、人づくり講師の前身であるが、県に先駆けて増強が必要と思うが、その評価と課題、今後の人員計画は。

▽答 19年度から、特殊教育から特別支援教育という一人一人の教育的ニーズに応じた教育へと方針が示され、従来の特殊学級在籍児童だけでなく、

通常学級在籍児童に対する支援も求められている。

全職員が人づくり講師と連携しながら特別教育を推進していかなければならない。

今年度の状況を分析し、人づくり講師と特別支援教育支援員の役割を明確にししながら適正な人員計画を行う。

ボランティア 手帳



ボランティア手帳

▼問 小中学校で、全児童生徒に配られているボランティア手帳に対しての考えは。

また、手帳を年度初めに発行できないか。

▽答 本市は「美しい心」を持った児童生徒の育成を目指し、ボランティア活動を推奨しており、手帳の活用はその手段。地域の皆さんには、子どもたちの活動や取り組みを温かく見守っていただきたい。

来年度は、4月当初に渡せるよう検討したい。

教職員の 仕事量

▼問 市内の2つの小学校をモデル校に「事務補助員」を配置しているが評価と今後の計画は。

▽答 資料印刷や教材作りの補助などで、教師の負担軽減につながっている。今後、事務補助の役割を「地域ボランティア」に求め、地域の方にも学校を支えていただくことを考えている。

後期高齢者医療制度

低所得者には軽減措置

▼問 後期高齢者医療制度は、年金天引き方式で保険料が徴収されるなど高齢者の生活に直接ふりかかる問題も多いが、対応策は。

▼答 後期高齢者一人一人に保険料を負担いただく仕組みとなっており、低所得者には、国保と同様に7割・5割・2割の軽減措置を設けることが決まっている。

また、これまで保険料を負担してこなかった社会保険などの被扶養者の事情を考慮し、激変緩和措置として、加入時から2年間は保険料の均等割を半額にすることなどが盛り込まれている。

すでに全国市長会などでも問題になっており、国に対して改善要望もしているところである。

▼問 保険料の滞納者は、保険証を取り上げられてしまうのか。

▼答 一定期間過ぎても納付しない場合には、特別の事情がない限り、資格証明書を交付することになる。

▼問 特定健診は「メタボリックシンドローム」に着目した健診になるのか。

また、受診率の引き上げの対策は。

▼答 40歳から74歳までの国保被保険者に対し、20年度から高齢者の医療の確保に関する法律に基



健診風景（健康のつどい）

づき、糖尿病などの生活習慣予防に着目した特定健康診断と健康診断の結果に基づく特定保健指導が国保、健康保険組合などの各医療保険者に義務付けられる。

21年度から5年間の具体的な実施方法や実施目標などを定める、特定健診等実施計画を20年度中にまとめる。

また、受診率を20%から65%まで引き上げられるよう、受診券の発行や広報での周知などを検討している。

年金受給延長と職員の雇用

▼問 民間企業では、年金受給年齢延長に対応した雇用形態を工夫しているが、市職員の現状は。

▼答 年金受給年齢が25年度から段階的に引き上げられることから、年金受給までの空白期間対策

については、再任用制度を設けて対応している。定年延長は、今後の課題と認識している。

市民の満足度

▼問 行政は先を見越し、少々の反対があっても、やらなければならないこともあるが、それには、今に生きる市民への行政サービスが他市に劣らない水準にあってはじめて理解されると思うが、市民の満足度を、どのように認識しているか。

▼答 若い人を対象とした世論調査で住みやすい都市との評価であった。フォア・ザ・ピープルも

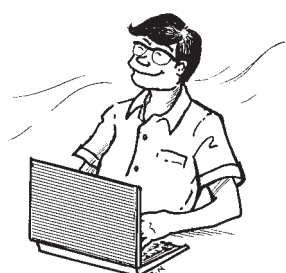
重要であるが、バイ・ザ・ピープルも重要であり、ボランティアと連携した市政運営は、県下でも圧倒的に高いと思っている。

市政への評価は、最終的には、歴史が証明する

クールビズ

▼問 環境問題についての推進、啓発の観点から、仕事に集中しやすくなる率があがると思われる職員のクールビズに対する考えは。

▼答 地球温暖化防止及び省エネルギーの観点から、夏季の軽装を9月30日まで実施しているが、市民に不快感を与えることのないよう、公務員として節度ある服装とするよう指導している。



子育て応援プラン

積極的に展開

▼問 子育て支援のさらなる拡充の考えは。

▽答 次世代の人づくりが一番重要であり、懸命の努力をしている。

本市の子育て支援プログラムとそのポリシーは、他市より圧倒的に高く、「子育て応援プラン」を積極的に展開している。

▼問 乳幼児医療制度を拡大すべきではないか。

▽答 小学校卒業まで入院・通院とも医療費を無料化すると年間1億5千万円の財政負担が伴う。新たな財源確保が必要であるが、めどが立ちつつあり、来年度に期待したい。

さんに配慮するためのマタニティマークを活用しては。

▽答 マタニティマークは、母子手帳に掲載しているほか、ポスターの掲示、チラシの配布を行っている。

今後は広報紙やウェブサイトでも啓発を行う。かばんなどに付けられるマタニティマークホルダーの配付について、母子手帳発行時に渡すことができないか検討していく。

マタニティマーク



マタニティマーク

東海中央病院の改築

▼問 東海中央病院の位置付けは。

▽答 東海中央病院を受診する方の8割が各務原市民であり、市民病院の役割を担っている市内でただ一つの総合病院であると認識している。

▼問 改築が遅れているようだが、現状は。

▽答 改築計画の遅れに対しては、心配していたが、19年6月に、「改築計画及び工事日程の変更」の文書が病院から通知された。

それによると「各務原市民の要望、ニーズなどを考慮しつつ、医療をとりまく環境の急速な変化に柔軟に対応するため改築計画を一部見直すことになりました」とのことであった。

学童保育

▼問 東海中央病院への今後の対応と改築の日程は。

▽答 改築計画の変更内容については、8月下旬開催予定の「東海中央病院連絡協議会」で説明をいただき、それを受けて、具体的な支援策を検討していく。

今後の日程は、設計が19年10月、入札が20年12月、22年12月本院オープンの予定との報告をきいている。

▼問 学童保育の入室状況は。

▽答 19年度からは、小学校で開設しており、6月1日現在、700人が入室している。

▼問 夏休みの暑さ対策については、どう考えているのか。

▽答 学童保育室には、

現在、壁掛け扇風機を設置している。

しかし、午睡時には、低学年の児童に対する配慮として、保健室などのエアコンの効く部屋の使用を学校と調整の上、検討したい。

また、熱中症対策も含め、指導員研修を実施している。

▼問 夏休み期間の入室児童の対象枠を拡大してはどうか。

▽答 学年の拡大については、保護者のニーズを確認しながら、保育室や指導員の確保などの条件も含め、総合的に検討していく。



夏休みの学童保育

『大きく育て！
各務原！』

私は各務原市で生まれ育ちました。その当時と比較しますと、ここ十数年の各務原市の発展は著しいものがあります。

そして今、私も2歳になる娘の母となりました。育児休暇を終え職場に復帰し、もうすぐ1年になります。仕事と子育ての両立は言葉にできないくらい大変で、はじめは苦悩の連続でした。

保育所に子どもを預けて3日目「お熱がありますので、お母さん迎えに来てください」と先生から連絡がありました。慣れない生活環境と頼りない母に子どもも戸惑い、無理をさせていたのかと反省しました。

働きながら子どもを育てることは想像していた以上に過酷で、自分一人では限界があると実感しました。夫と両親の協力、職場の理解に助けられ今日まで頑張つてこれ、多くの皆さん

に感謝の気持ちで一杯です。病気がちだった娘も今では毎日喜んで保育所に通っています。

やんちゃ盛りではありませんが、健康でたくましく日々成長している姿はとてもうれしいものです。やはり、子を持つ親としてゆとりと責任を持ち、



須衛町
常富美由貴さん

子育てができるような社会環境を築いていただければと実感しております。

例えば、保育サービスの拡充や子どもたちの医療への不安解消などです。

特に、母として実感したことは夜間の小児救急医療体制を充実して欲しいということでした。

子どもたちが安全かつ安心して過ごせる環境を作れるのは「各務原市の力

だ」と期待しています。

私は学生のころからテニスに没頭し、今でも時間ができた時にはスポーツ広場などを利用し、汗を流しています。

ストレス解消にもなりますし、健康的で若さを保つ秘訣？でもあると思います。オムニコートは芝も張りかえられとてもきれいになりました。

しかし土日は利用者が多いためなかなか予約が取れないのが現実です。

テニス愛好者を代表しテニスコートの拡充を強くお願いしたいと思います。

各務原市はスポーツが盛んであるとも市外の友人から聞きますので、テニス以外のスポーツ施設の充実もお願いします。

そして、スポーツの盛んな活気のある街になつて欲しいと願っています。

私がこの街を愛するうちに、子どもたちの素晴らしい故郷として、子どもの成長とともに各務原市が元気に成長していくことに期待しています。

市民の皆さんのご理解を

議員は、選挙区内の人に対して残暑見舞いや年賀状などの時候のあいさつ状(答礼のための自筆を除く)を出すことは、常時禁止されています。

また、選挙区内の祭りや地域行事などへの寄付や差し入れをすることも法律で禁止されています。

議会を傍聴しましょう

次の定例会は、
9月10日開会予定です。

詳しくは議会事務局へ

議会素描

▼自治会有志の方々が傍聴席に。感心やら・ため息やら・驚きやら……市民の皆さん、「百聞は一見にしかず」どんどん傍聴してください。

▼東海中央病院は、市民病院的な役割を果たす市内唯一の総合病院。一刻も早い改築、オープンを望みます。

▼学童保育。子育て世代からの要望と期待は、ますます大きく、今後一層の内容充実を。

▼6月22日「平和の日」、議会冒頭に黙とう。

空襲による犠牲者の冥福と恒久平和を祈る。

▼暑い夏、今年も過去のあやまちを繰り返さない、恒久平和を誓う日が巡ってきた。毎年の行事ではなく、初めて迎える日であると新たに心に刻む。

▼政治への不信と不安。市民が安心できるように執行部職員と議員が良い緊張感を持つて頑張ろう。